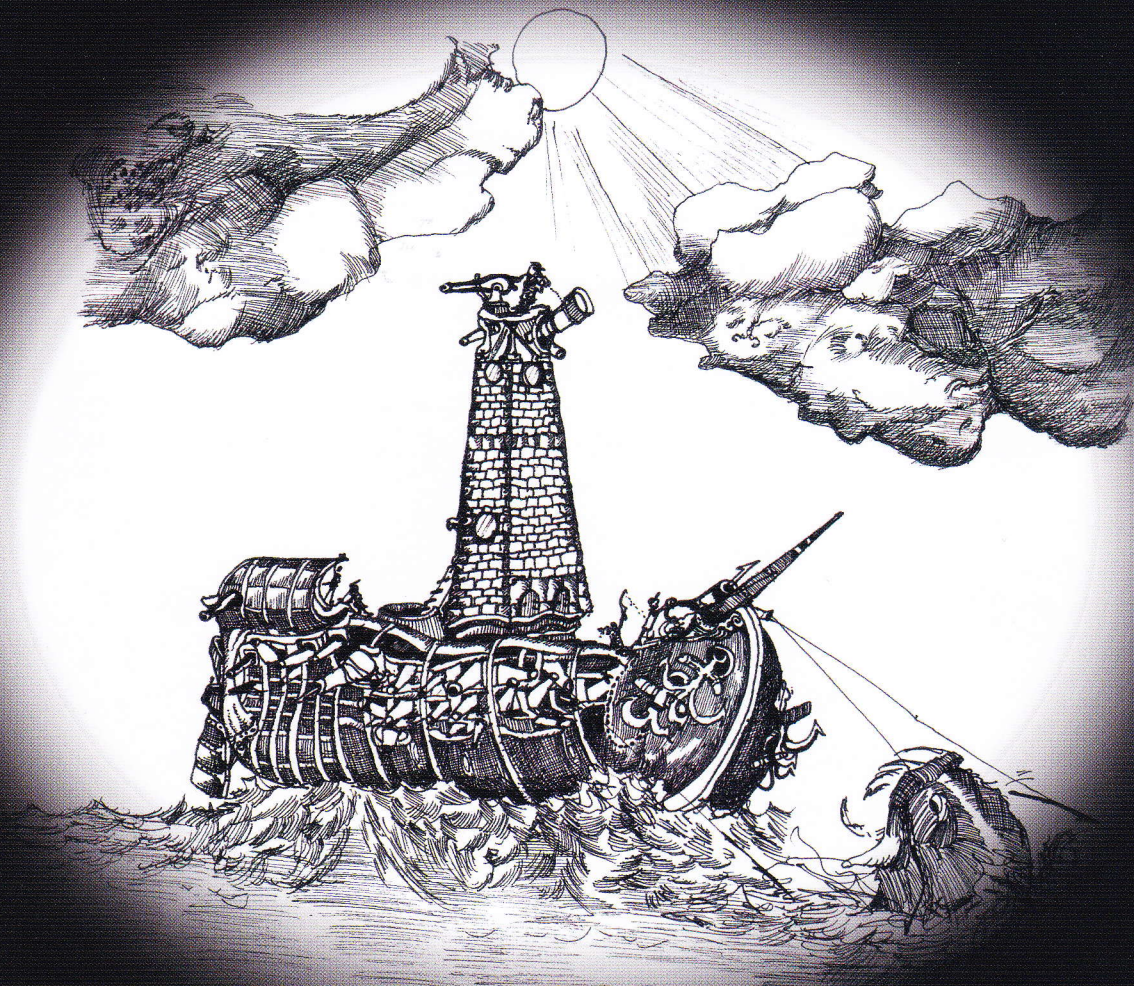


八口一山梨演劇塾「YaYaYa」第13回公演

# 翔べない二人

【A若年組・B熟年組】



絵 関根 悠一郎

作・演出 藤谷 清六

### スタッフ

演出助手 / 島津 久美子 音楽 / チャイルドフッド 舞台監督 / 清野 知之 舞台監督助手 / 山田 寛幸・平岩 悠 照明 / 飯野 洋光 音響 / 山本 良英  
 メイク / 田中 来実 ヘアメイク / 小林 淑子 フラカード文字 / 石原 美歩 衣装 / 鎌倉 博美 大道具 / 高橋 誠 映像・DVD制作 / 鷹野 亮司  
 宣伝・デザイン / 山中 みゆき スチール写真 / 山中 勲 制作 / 土井 マチ子 制作 / 清水 えみこ 会計 / 松永 博美 協賛 / 株明治書房 守屋 杉男  
 挿絵 / 関根 悠一郎 プロデューサー / 山本 眞樹

★2014年6月21日(土) ★2014年6月22日(日)

B 熟年組 / 13:30 開場 14:00 開演 A 若年組 / 13:30 開場 14:00 開演

A 若年組 / 18:00 開場 18:30 開演 B 熟年組 / 18:00 開場 18:30 開演

公演スケジュール (開場は30分前)		
開演	6/21 土	6/22 日
14:00	B 熟年組	A 若年組
18:30	A 若年組	B 熟年組

★場所: 甲府桜座 <http://www.sakuraza.jp> ★特別支援企業: (株) 明治書房

★入場料 / 前売 2,000 円 当日 2,500 円 (中・高生 1,000 円 / 小学生以下無料) AB 共通割引券 3,000 円 (A・B 2 回ご覧になる方)

★お問い合わせ / 土井マチ子: 090-4932-8147 mail: kuninakadoi063@docomo.ne.jp

藤谷 清六: 090-3244-8006 mail: maki@mozidas.co.jp

## 「懐かしの正統派コメディ」

「はてな？どこかで聞いたようなやり取りだな」と思ったら、何と自分たちの夫婦喧嘩そっくりじゃないか――

そんな身につまされる場面がいっぱいの「翔べない二人」は、近年のとてもシュールな清六ワールドとは大分趣が異なる。

懐かしいような正統派コメディである。

それもそのはず、実は2007年初演作品の再演なのだ。この時は、出演予定の洋子夫人が稽古期間中に発病、半年後に急逝するという悲運に見舞われ、清六さんも演出を降りざるを得なかった経緯がある。

あれから7年、洋子さんへの“追善興行”の意味も込めて再演を思い立ったようだ。

再演に当たっては、6話から成る筋立てはほとんど変えてないものの、若年夫婦の場合と熟年夫婦の場合の2部構成に拡大（計12話）、しかも各話を異なる役者カップル（計24人）が競演するというきわめて珍しい趣向にした。1組の夫婦の話なのに、12のヴァリエーションが堪能できるはずである。



山梨県立大学非常勤講師  
浜崎 紘一

## 「翔べない二人」に見る磁場の力

藤谷清六氏がこの芝居を初めて打ってから7年――今回は若いカップルと中年のカップルのバージョンである。

「喧嘩」の内容は世代を超えて同じであり、夫婦はいつでも似たようなことでやり合う様子。

互いの顔を見て、その表情、言葉、その人間をそうあらしめている特性、動き方に反応しては、二人の時間を賑やかに、時にけたたましく児戯的に、時にけだるく熱のこもった諦めを力に変えては、飽きることなく紡ぎ続けている。磁石のプラス同士のように背を向けあっても、その先、弧を描くように、強い磁場のもとに戻ってくる。「翔べない」二人がスポットライトを浴びているこの「磁場」は、藤谷氏の憧れなのであろうか。

どういう形の夫婦、二人が理想なのかは永遠の謎だ。一人で暮らしていても、人間には「他者」が存在し続ける。

自分の顔は、大切な相手の瞳を覗き込んでしか確認できないからだ。「あなたの瞳の中にいる私」に実存が宿り、時を経ても、人から人へと繋がりが続いていく。

すでにこの世界から旅立った人、これからやってくる人、自分を写す「瞳」は時間を超えている。あるがままに向き合っても、けっして離れることのない「磁場」を創りだしていくことが、この世に生まれた人間の、飽きることない日々の生業なのだろう。



山梨県立大学教授  
坂本 玲子

## 「言葉のバトルを跳んでいるだけの翔べない二人」

けったいでやっかいな男女が一つ屋根の下、互いに不平もいわず一緒に仲良く平和的にくらす、めでたしめでたし、などということは、藤谷清六さんの前ではあってはならぬ。心配ご無用、あってもなくても藤谷さんの演劇マジックにかかってしまえば、夫婦の仲はたちまちにしてバトル。天井の埃が落ちてくるほどの口喧嘩が始まる。つまり言葉の戦争である。

まずは妻からの詰問から始まり、夫のはぐらかし、次第に罵り用語、恨み用語、皮肉用語、偽装語、戯語、妄言、虚言等々、日ごろの腹の中・胸の中・頭の中、筆筒の中、財布の中などに鬱積していた言葉というコトバが、ありったけ動員され、激しく、あるいはやんわりとやり合うのだ。ときにはハチミツよりも甘いコトバで囁くのだ。さらに夫婦のバトルの中にあっても、切っても切れない愛すべき絆にも気づかされることになるのである。むろん身につまされたりもする。

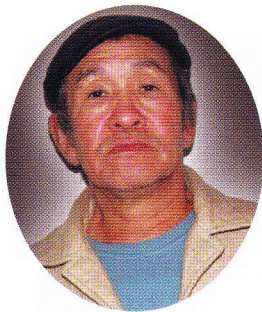
楽しみ方はもう一つ。今回は若年バージョン、熟年バージョンの2パターンという欲深サービス。若年、熟年、何がどうちがうのか、気づいてみよう。

この芝居のいい点は、9条ならぬ、二人が出会ったころのあの瑞々しい旧情を思い出しながら、互いに個別的自衛権で夫と妻はフェアでタカキ、決してヨソ様の夫婦のアラソイに集団的自衛権でチョツカイを出す、なんていうことがないことである。万が一集団的自衛権を行使容認したのならせかくのこの「オムニバス6話」は、途中で複雑にからみあって大きな混乱に陥ること必至である。



詩人・エッセイスト  
古屋 久昭

## 友情出演



劇団レクラム舎 主宰  
鈴木 一功

藤谷さんと知り合ったのは、確か葦崎のシアターガイアで「友情・ある半チョッパリとの45年」を上演したときだ。それからの交流で、「友情・・・」「内はほらほら外はすずぶ」「べっかんこおに」と、山梨に呼んでもらっている。来るたびに、甲府の町にも愛着がわく。藤谷さんの主催する劇団のお芝居も何度か拝見し、メンバーの真摯な姿勢に、心が動かされたりする。今度、何か一緒にやりましょう。会う度に、交わっていた言葉が、今回出演するというので、実現した。

今回は劇団の松坂わかこも一緒。二人で早朝に稽古。藤谷さんのロマンチックなセリフを頭に入れて、一日が始まります。山梨の皆様とお会いできるのを楽しみにしております。そして新たな交流が始まればと願っております。

夫婦ってなんだろう？

こんなに身近なのに、ちっとも解らない。

私は、わからない事だらけで、一生を終えるのだろうか？

何かがわかるってどういうことだろう？

他人を解る。

物事をわかる。



劇団レクラム舎  
松坂わかこ

藤谷先生の作品の舞台出演は、これで三回目になります。その個性的かつ魅力的な脚本と演出に、目は釘付け、胸は鷲掴み！！今回上演の「翔べない二人」は、日常、私達にも思い当たるさりげない夫婦の会話から始まって、喧嘩に至るまでの過激なまでのおもしろさ、おかしさ、そしてちょっぴりのほろ苦さ等が存分に味わえます。

ああ、私もこんな徹底的に夫を罵る夫婦喧嘩とやらを一度でいいからしてみたい・・・え？「もう十分です。」とはうちの旦那さまの言。永遠に解り合えない、男と女の性。でも解り合えない所があるから男と女はおもしろいんですね。人生に深みも感じられますし。

さて、日本古来の琵琶の音色が、今回の夫婦喧嘩の中でどの様に皆様のお耳に響きますでしょうか？

プロフィール：薩摩琵琶鶴旺会所属。山梨芸術文化協会会員。「平家物語」等の古典曲の他、「耳なし芳一」「源氏物語」等の創作曲も演奏。県内外にて幅広く活躍中。2011年6月にはイタリア、ポローニャ国際音楽博物館にて独演。



薩摩琵琶  
清水 えみこ

白と黒の世界から彩りの表現へ。

オムニバス形式の演劇・・・一人一人の役者が作り出す色はどんな色だろうか？

軽妙な言葉のキャッチボールから繰り広げられる、それぞれの世界観を色と造形で表現いたしました。

彩りのプラカードをお楽しみに！

プロフィール：書道界のアカデミー賞と称される毎日賞を2回受賞。書道ガールズの指導、書道パフォーマンス、テレビ出演。代表的な商業作品に「吉田の火祭り」ポスター題字、舞台装飾「神賑」、カレンダーの題字「富士山」、風林火山博・武田検定題字「風林火山」など。



プラカード文字  
石原 美歩

藤谷さんの作品は毎回ワクワクするんです。ワクワクと驚きと、そして何より笑い！

本当に期待を裏切らない作品ばかり。藤谷さんの作品に参加させていただくたびに、私達も新しいチャレンジをさせていただき、成長するきっかけをたくさんいただきました。音楽を通して藤谷さんの作品に参加出来ることを感謝致します。

さあ、今回はどんな驚きと笑いをみなさんにお届け出来るでしょうか。私達も楽しみです！

プロフィール：2003年マユミとエリナでチャイルドフッドを結成。2008年にベースのシモを加えて現在3人で活動中。『私の好きな街』が富士の国やまなし国文祭2013イメージソングに選ばれる。



音楽・演奏  
チャイルドフッド

今回、パントマイムの指導でお手伝いをさせていただきましたピエロのもっちいです。

特に第3話がメインでしたが、他の皆さんとも一緒に稽古させていただけて、楽しかったです。

パントマイムの動きは、普段使わない筋肉をたくさん使うので、痛かったり筋肉痛になったり、はたまた手と足が思うように動かなくて、いみわかんない！となってしまうたり・・・大変だったと思いますが、いいカンジに仕上がってきたと思います。ぜひ練習の成果を見てください！

プロフィール：静岡大道芸カレッジアシスタント講師、カルチャーセンター大道芸クラス講師、ブライダル、幼稚園、老人ホームなど多方面で積極的に活動中。NHK「みてハッスル！きいてハッスル！」ゲスト出演、静岡ケーブルテレビわが町元気劇場出演他。



ピエロ  
もちづき みゆき

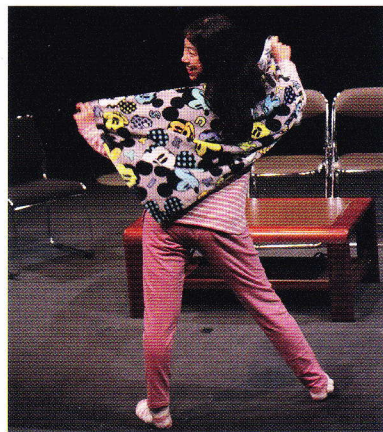
## A 若年組

### 第1話 シャンプーが違う



黒部 翔太

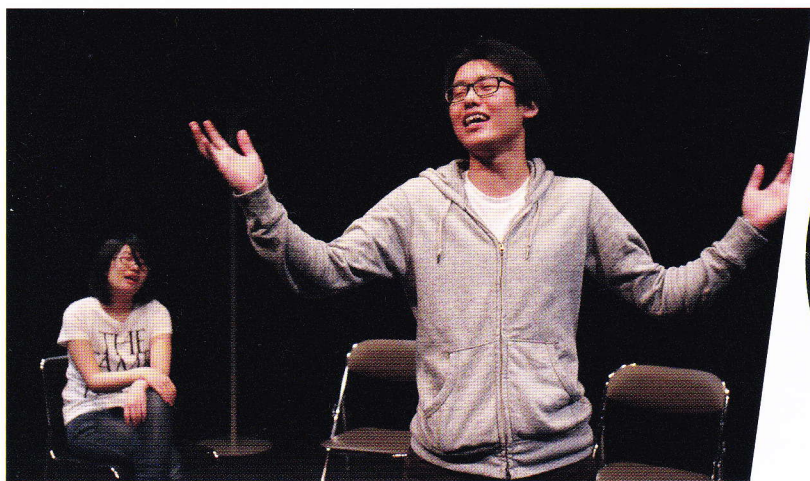
渡邊 英里子



夫「僕は一回だって、自分で給与明細書を開いたことはない。たった一つの趣味のゴルフだってクラブ一本買うにも、香織ちゃんの承諾を得てんだよ。」

妻「フン、嘘ばかり。夕べだってあなたが帰って来たのは夜中の二時よ。」

### 第2話 台所がもう一つほしい



妻「そんなことをするために、私はあなたと結婚したんじゃないよ。」

夫「僕は、妻の美味しい手料理が食べたくて結婚したんだ。♪ ただ単に、それだけのために・・・♪」



市川 慎之佑

穴水 真悠

### 第3話 夫と妻の一人芝居



夫「それにしてもお爺ちゃんばかりでございますね。せめて、『トム・クルーズ』か『デカプリオ』にしたらいかがでしょう？」

妻「退屈なのよ、誰も彼も凡庸で死ぬほど退屈なのよ。こうなったら頭を丸めて尼さんになるしかないわ。」



久保田 里奈

小池 武